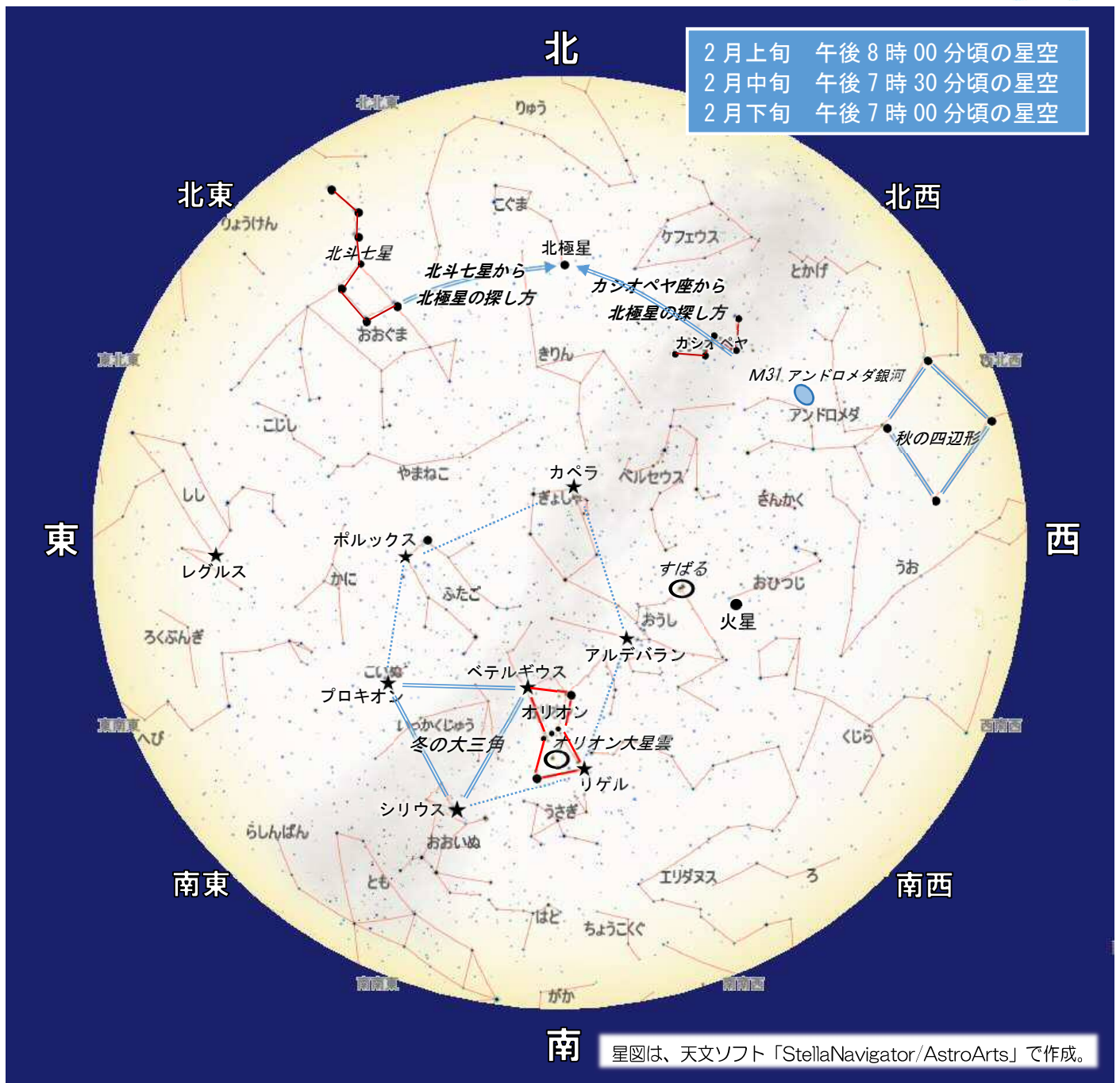


# 2021年 2月の星空案内



## 【2月の星空】

南の空に、冬の星座たちがひとときわ明るく輝いています。その中でも特に有名なのは、オレンジ色の「ベテルギウス」と白い「リゲル」、2つの1等星をもつ「オリオン座」です。この「ベテルギウス」と、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」を結ぶと『冬の大三角』ができます。さらに「ポルクス」、「カペラ」、「アルデバラン」、「リゲル」とつないでできる六角形を、『冬のダイヤモンド』と呼びます。星の色の違いを楽しみながら探してみましょう。

## 【火星と星雲・星団】

昨年10月に地球に最接近した「火星」が、夕方の南西の空に見えます。地球からはだいぶ離れて、さすがに暗くなってきましたが、オレンジ色で目立ちます。

双眼鏡で、プレアデス星団（M45：すばる）やオリオン大星雲（M42）を探してみましょう。空の暗いところで、M45は数十個の若い星々の集まりが、M42は星の周りにモヤっとした光のにじみが観察できます。